

入試作文「これだけ」ポイント早見表

はじめはこれを見ながら書いても OK —— 困ったらここで確認しよう

ここを読む！

設問のポイントを読めば作文できる！

代表的な作文のパターンはこう読んでこう整理する

賛成・反対型の問題

□□という意見がある。あなたの意見を書きなさい。

その理由とあなたの体験もあわせて書きなさい。

だから ← これだけ書けば OK！

- 1 意見（賛成・反対）
- 2 理由
- 3 体験

選択意見型の問題

◇◇について、どれがよいと思うか。あなたの意見を書きなさい。

その理由とあなたの体験もあわせて書きなさい。

だから ← これだけ書けば OK！

- 1 意見（○○を選ぶ）
- 2 理由
- 3 体験

データ読み取り型の問題

資料から読み取れることと、あなたの意見を書きなさい。

その理由とあなたの体験もあわせて書きなさい。

だから ← これだけ書けば OK！

- 1 資料から読みとれること
- 2 意見
- 3 理由
- 4 体験

見本版

おぼえて書く！

「決めフレーズ」を使えば構成はカンタン！

代表的な作文のパターンはこうやって書く

賛成・反対型の問題

1 私の意見を次に記す。賛成である。

2 理由を次に記す。——○○○○だからである。

3 私の体験を次に記す。——○○○○だった。

4 よって、私の意見は賛成である。（無くてもよい）

選択意見型の問題

1 私は○○を選ぶ。

2 理由を次に記す。——○○○○だからである。

3 私の体験を次に記す。——○○○○だった。

4 よって、私は○○を選ぶ。（無くてもよい）

データ読み取り型の問題

1 資料から読み取れることを次に記す。

2 私の意見を次に記す。——○○○○である。

3 理由を次に記す。——○○○○だからである。

4 私の体験を次に記す。——○○○○だった。

はじめに・作文の鉄則

読み方・書き方のポイントはこれだけ

作文を得点源にしましょう。意外にカンタンです。次の鉄則を確実に守ることです。

1 意見＋理由と具体例（体験）で書く 2 設問の指示に正確に従って書く

もう少し詳しく説明しましょう。まず1について。作文の構造（組み立て）です。

入試に限らず、作文とは「自分の意見」を文章にすることです。その目的は、あなたの意見を他人に伝え、納得してもらうことです。「ふーん……」で終わるのではなく、「たしかにそうだ」と納得してもらうことが重要です。書き手の立場から言えば「他人を説得するために文章を書くこと」となります。

説得に必要なのは「意見」と、それを裏付ける理由・根拠などです。

先生に向かって突然「私は明日、国語のテストを行うのに反対します」という意見を言っても説得できません。だから根拠が必要です。

意見 私は明日、国語のテストを行うのに反対します。

理由 なぜなら、明日は大雪の可能性が高いからです。

根拠 今の大気の状態は○○です。だから明日は大雪です。学校を休みにすべきです。

これで「○○」の部分が正当なら、説得が可能になります。

テレビドラマでは同じことを次のように行います。意見「あなたが犯人だ」。理由・根拠「○○という証拠があがっている」。これで証明して、逮捕です。

「証明」といえば、数学の「証明」も同じことをします。たとえば意見が「二つの三角形は合同」ならば、理由・根拠は「三つの辺の長さが等しい」などです。

そこで、最初の「意見＋理由と具体例（体験）で書く」を覚えてください。

次に2番目の鉄則「指示に正確に従う」について記します。

1番目に書いた作文の構造は、多くの場合、設問に書かれています。設問の内容を正確に読んで理解すれば、「何を・どのように書くのか」つかむことができます。そして、その指示に従って書けば、基本的に正解となります。

つまり、1のような説得力のある構造の文章を、2のように設問の指示に従って書けば、確実に得点できるということです。

たとえば、次のような問題があります。

明日、国語のテストを行うことについてのあなたの考えを書きなさい。第一段落ではあなたの意見を、立場を明らかにして書きなさい。第二段落にはそう考えた理由を、気象に関連付けて書きなさい。文字数は○字以上○字以内とする。

この設問に対しては、上の文例がそのまま正解になります。では、次のページから、問題を使いながら具体的な手順を説明します。

■目次■

基本解説編		作文の手順	
	例題	・	4
プラスアルファ	ポイント①④	・	8
練習問題編	基本1③	・	10
練習問題編	標準4	・	12
プラスアルファ	ポイント⑤⑥	・	20
練習問題編	標準56	・	22
練習問題編	発展78	・	24
練習問題編	難問910	・	30

Go!

